

エコアクション21全国交流大会in金沢

## 第一分科会テーマ

環境保全が企業利益に  
直接結びつくアドバイス

主旨説明

平成23年11月4日

# 1 エコアクション21 認証・登録制度の目的

## エコアクション21 認証・登録制度実施要領

### 1.1 エコアクション21 認証・登録制度の目的

エコアクション21 認証・登録制度は、「エコアクション21ガイドライン2009年版」に基づき、エコアクション21に取り組む事業者を、認定・登録を受けたエコアクション21審査人が審査し、認証・登録するとともに、この事業者の環境活動レポートを公開すること及び審査を通じて必要な指導助言を行うことにより、

第一分科会の主旨

広範な企業・事業者、教育機関、公共機関、団体等における環境への取組を推進し、もって持続可能な社会経済の実現に貢献することを目的とします。

## 2 事業者のアンケート結果

平成20年4月～22年3月まで、上越、富山、金沢、福井の地域事務局にEA21:2004年版の更新審査を申し込んだ事業者148社の評価欄を集計した

### 評価項目

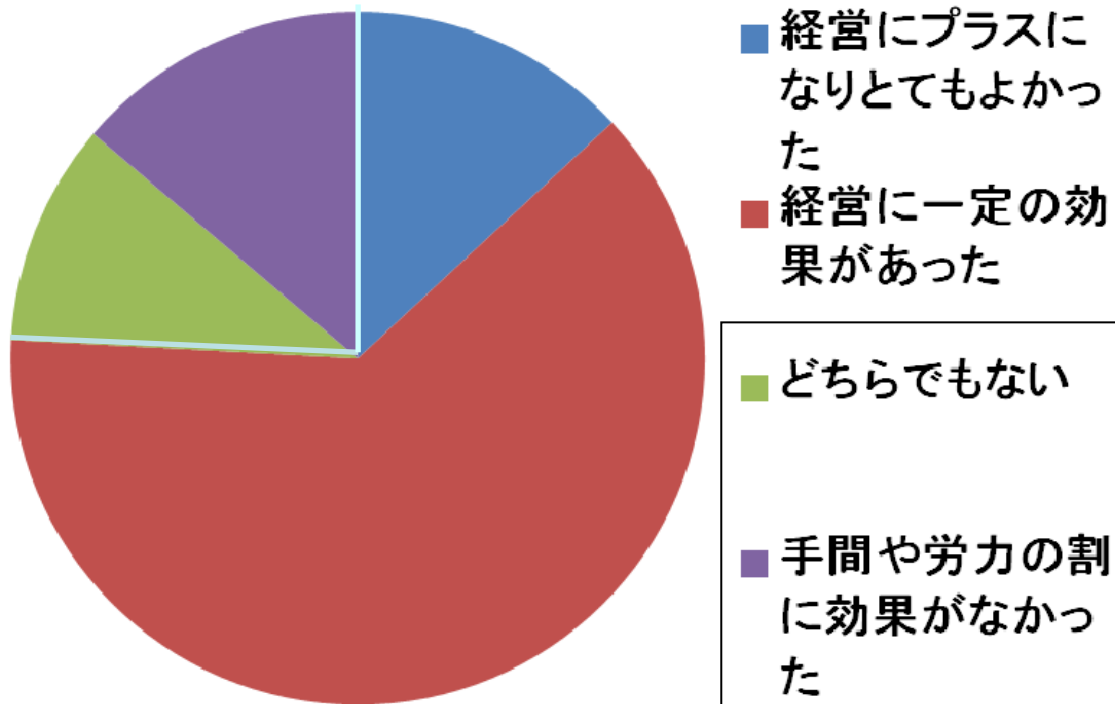
- EA21に取り組んで経営に役だったか
- エネルギー使用量は削減されたか
- 廃棄物排出量は削減されたか
- 水使用量は削減されたか
- 社員の環境意識は高まったか
- 認証取得して取引で効果があったか
- 社内のムリ・ムダは削減されたか など

## 2 事業者のアンケート結果

エコアクション21に取り組んだことをどのように評価したか

全体

考察



N=148

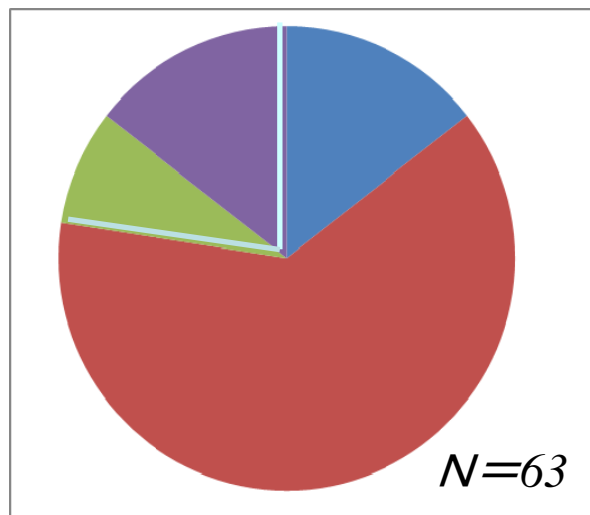
- 「エコアクション21に取り組んで期待した効果がなかった」と評価している事業者が全体の24%を占める。
- サービス業の事業者は「経営にプラス又は一定の効果がある」と評価している事業者が95%を占めるのに対して、廃棄物処理業で45%、建設業で33%、製造業で23%の事業者が「期待した効果がない」と評価している。

(次のスライド)

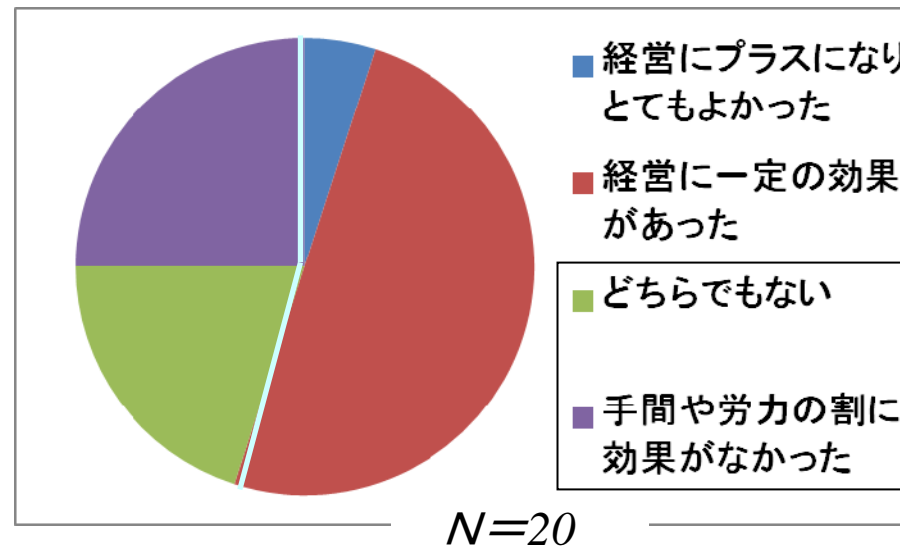
## 2 事業者のアンケート結果

エコアクション21に取り組んだことをどのように評価したか

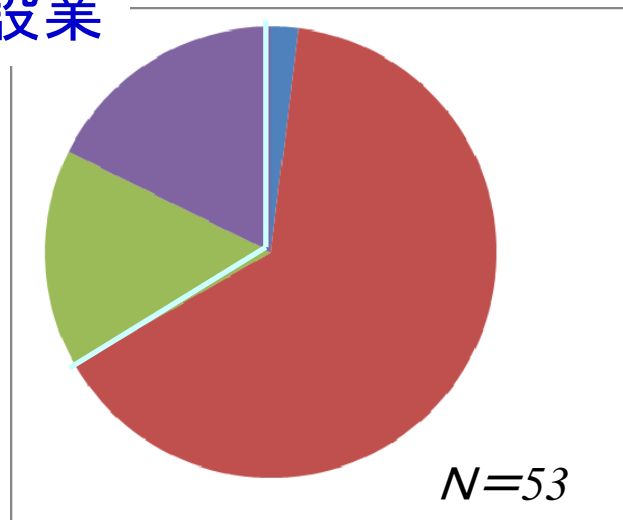
製造業



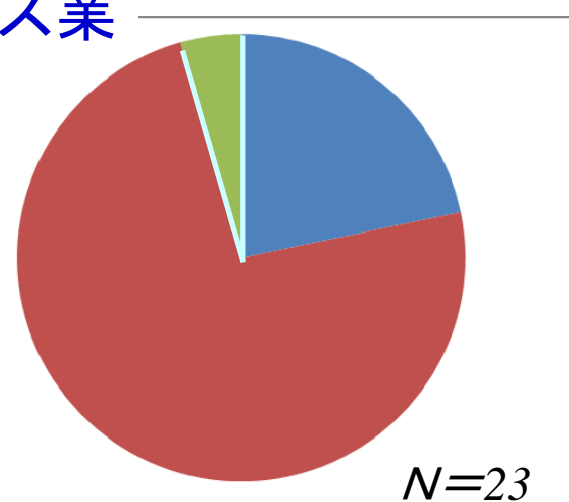
廃棄物処理業



建設業

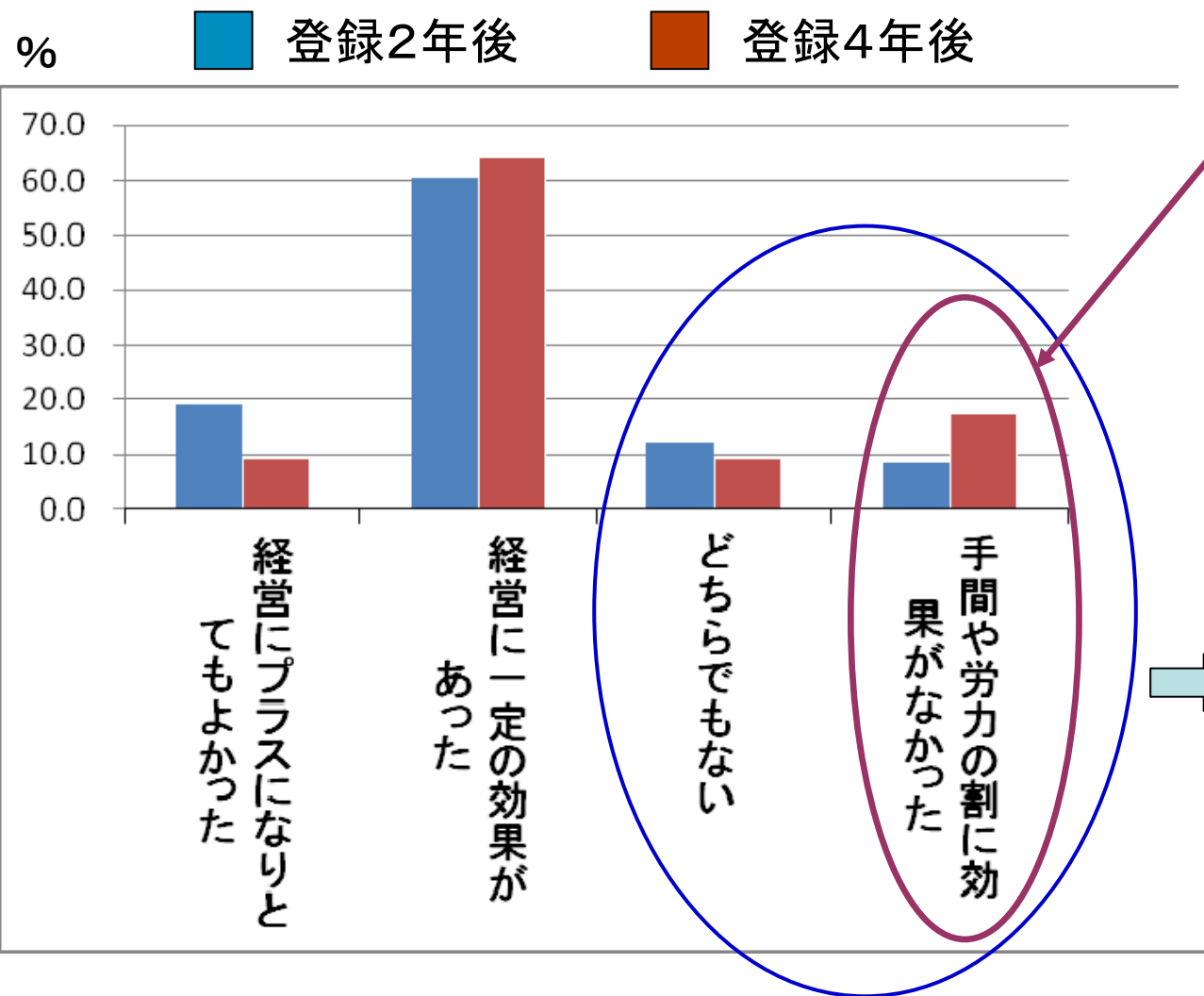


サービス業



## 2 事業者のアンケート結果

エコアクション21に取り組んだことをどのように評価したか  
認証取得後経過年数との関係



考察

認証取得4年後になると、エコアクション21に取り組んでも労力の割りに効果がないという事業者が増える傾向にある。

その後、認証登録を放棄をした事業者が数社ある。

## 2 事業者のアンケート結果

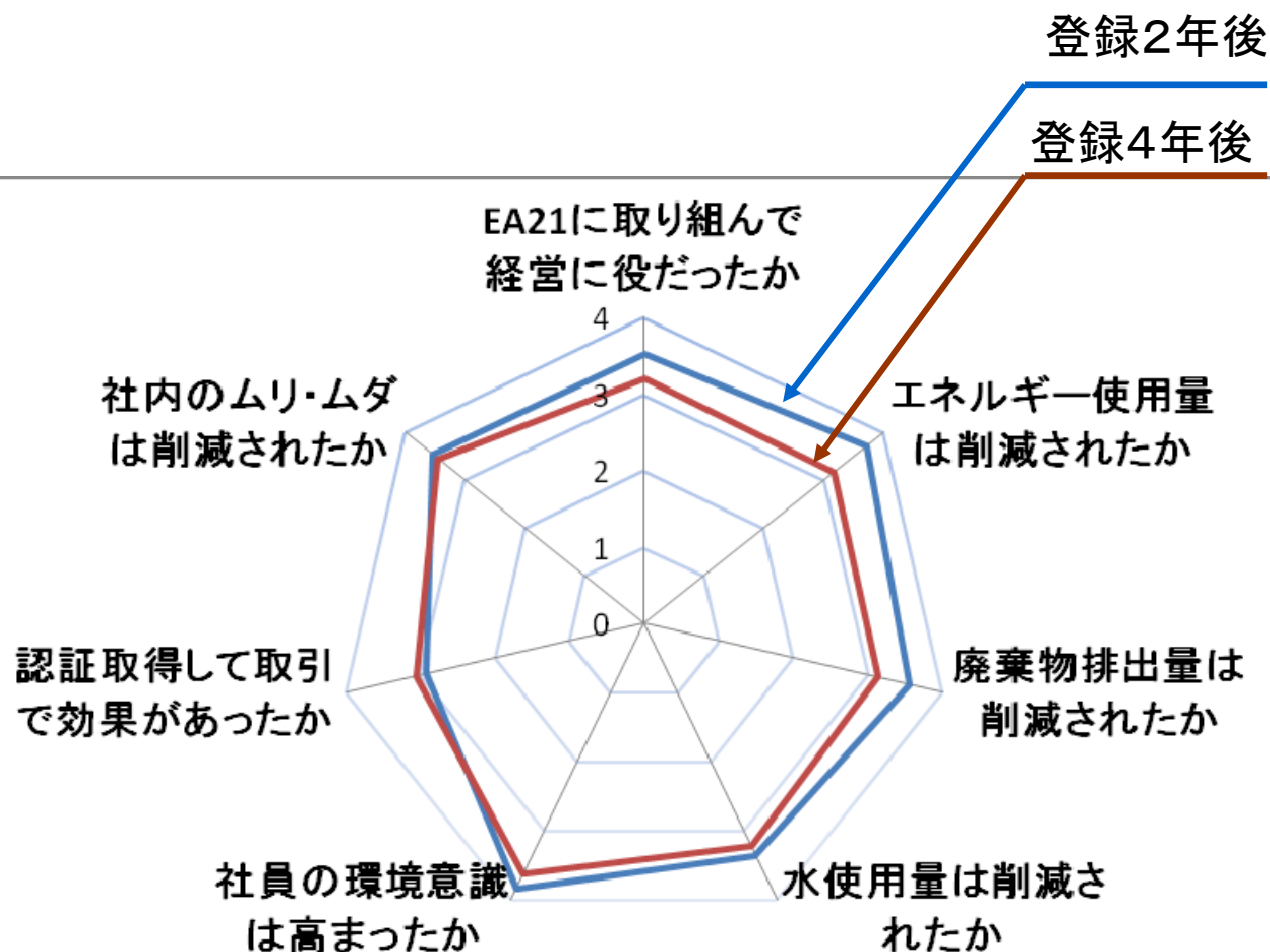
### 認証取得後経過年数と成果との関係

考察

- 認証取得4年後になると、エネルギー使用量削減、廃棄物削減についての改善が滞る傾向にある。



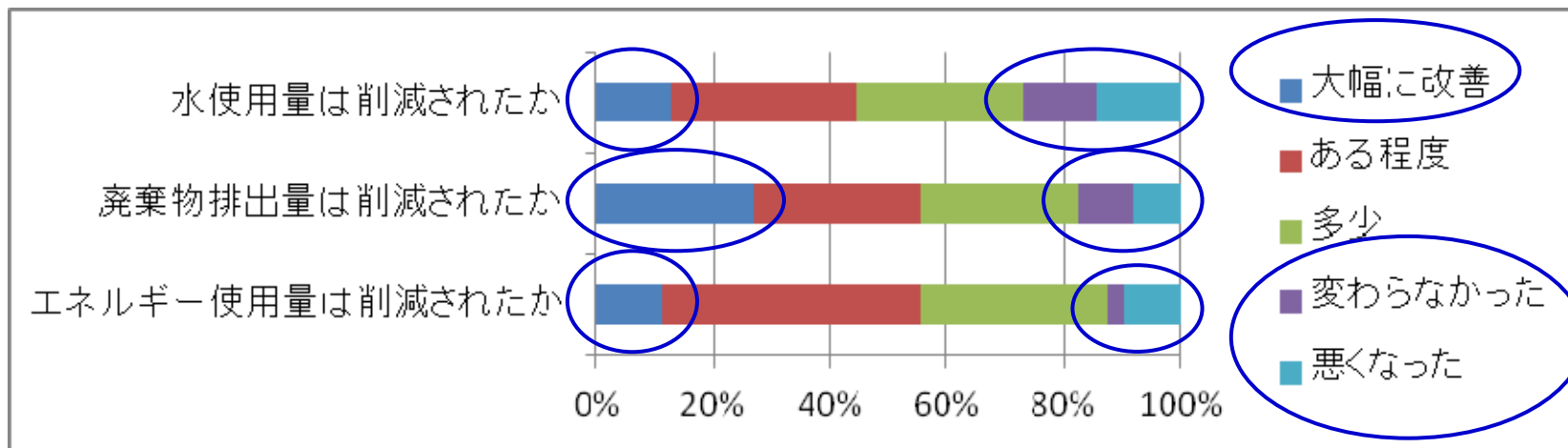
手軽にできる改善をし終わると、その後、改善が進まなくなる。



## 2 事業者のアンケート結果

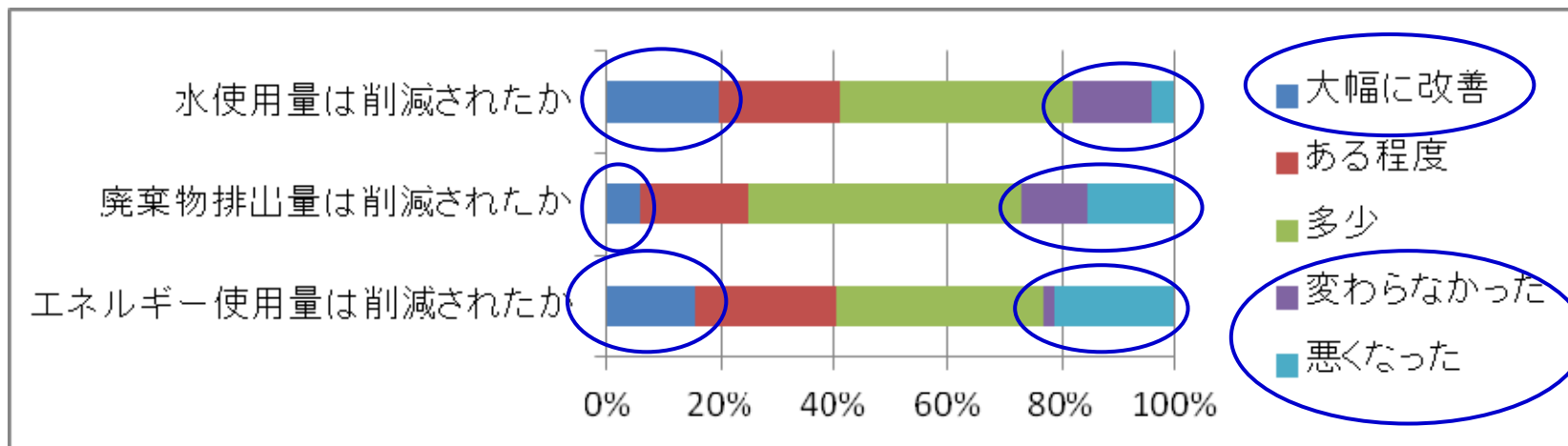
### 評価項目別（過去1年間を振り返った評価）

#### 製造業



N=63

#### 建設業



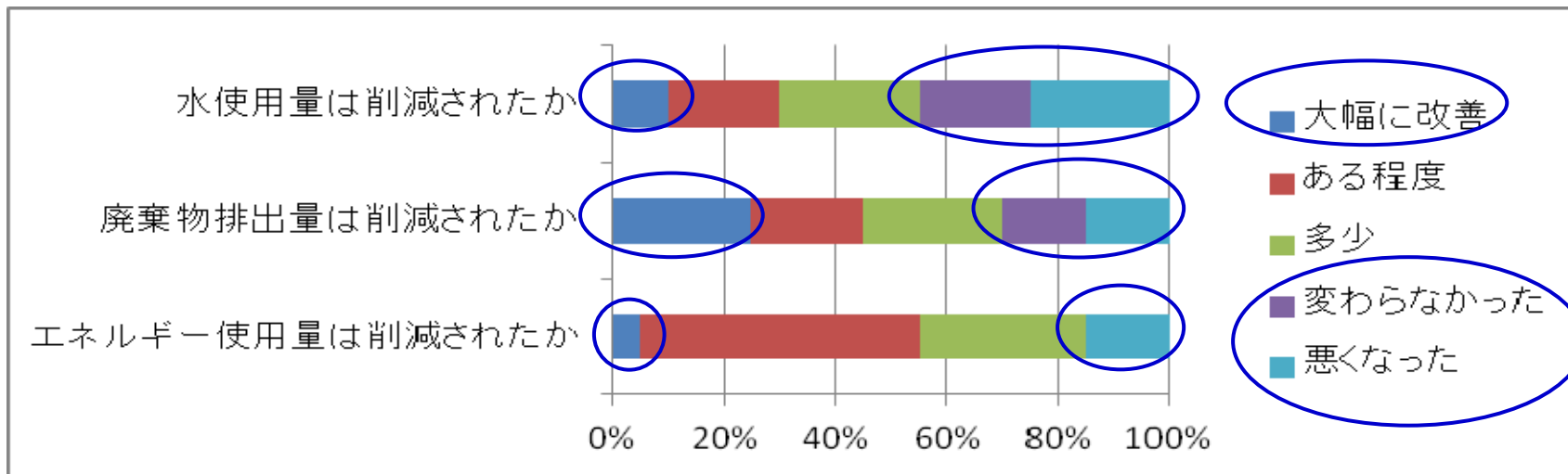
N=51



## 2 事業者のアンケート結果

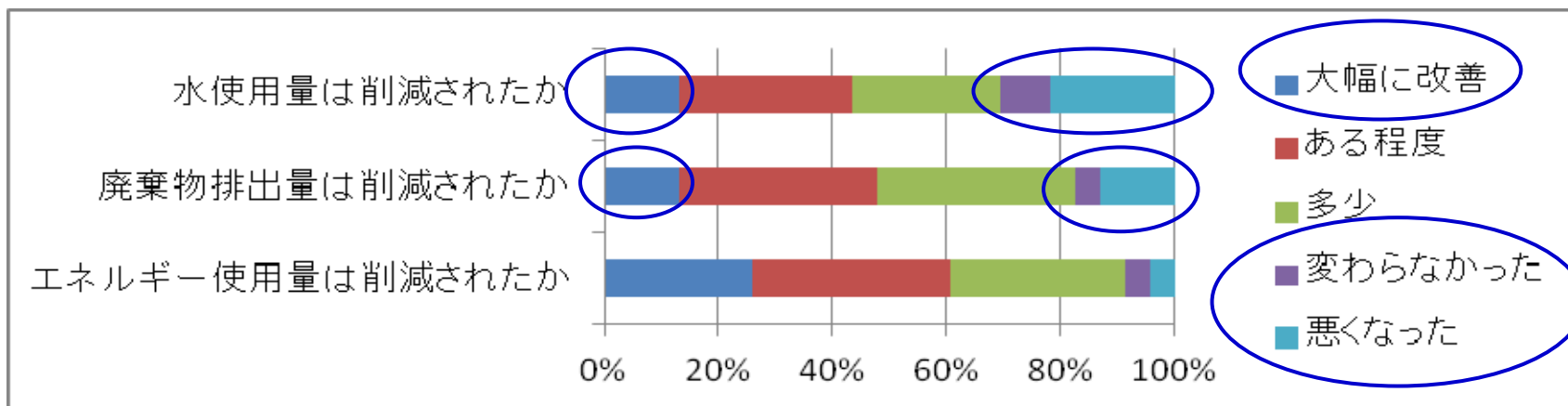
### 評価項目別（過去1年間を振り返った評価）

#### 廃棄物 処理業



N=20

#### サービ ス業



N=23

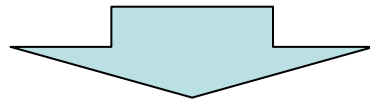
## 2 事業者のアンケート結果

評価項目別（過去1年間を振り返った評価）

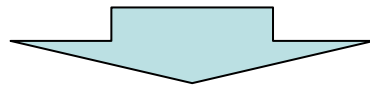
### 考察

- エネルギー使用量、廃棄物排出量、水使用量について、削減と増加の数が同数ある。

特に建設業、廃棄物処理業、多品種少量生産の製造業



- 売上高や仕事内容の違いから実績値が目標数値に対して数倍変動する。



- パフォーマンスが継続的に改善されているかどうかの取組評価ができない。

# アンケート結果から見える課題

## 問題点

① エコアクション21に取り組んで期待した効果がなかった。

② 改善効果を数量的に把握しづらい。

③ 認証取得後、年数が経過すると改善が滞る。

## EA21:2009年度版 追加要求事項

④ 本業の環境配慮  
(製品・サービス)  
(グリーン購入)

## 課題

1. 企業利益に貢献する。

- コスト改善につながる環境目標、評価指標の設定
- 事業者にあった効果的な改善案のアドバイス

2. 環境ビジネスの促進

- 効果的な環境配慮型製品の開発
- 自ら生産・販売する製品・サービスのグリーン化

3. 環境と経営の一体化

- PDCAを廻して経営効率を高める。

## 3.これから討議するメンテーマ、サブテーマ

### テーマ1 「エコアクション21でコストを低減するには」

審査人からの意見発表 (20分)

「コスト改善につながる環境目標・評価指標の立て方」・・・西村審査人

「環境への取り組みの自己チェックのあり方」・・・尾崎審査人

会場との意見交換 (20分)

### テーマ2 「環境ビジネスを強化し、利益を上げるには」

事業者からの事例発表 (24分)

「効果的な環境配慮型製品の開発」・・・岸グリーンサービス

「製造工程での産業廃棄物排出量削減活動」・・・松崎製作所福井工場

会場との意見交換、まとめ (20分)

### テーマ3 「PDCAを廻して経営効率を高めるには」

審査人からの意見発表 (7分)・・・宮下審査人

会場との意見交換 (15分)

(全体を通した質疑応答を踏む)

総合講評 (7分程度)

・・・中央事務局 牧野参与

## <参考> 経営に役立つEA21と討議テーマの関連図

